

摘 録

会議の名称	大牟田市男女共同参画審議会第2回会議
開催日時	令和7年7月28日（月） 午後2時～3時30分
開催場所	大牟田市役所 北別館4階 第2会議室
出席者	（委員） 10名 （事務局） 3名
会議次第	1 議題 第4次おおむた男女共同参画プラン実施状況（令和6年度）について 2 その他
配布資料	1 第2回大牟田市男女共同参画審議会 次第 2 第4次おおむた男女共同参画プラン推進状況（令和6年度）（案）（資料1-1） 3 第4次おおむた男女共同参画プランの推進状況 審議会委員評価・コメント及び各課の回答（資料1-2） 4 プラン達成のための指標の推進状況（令和6年度）（資料1-3） 5 大牟田市における政策・方針決定の場への参画状況（資料2）
公開・非公開	公開
傍聴者	1名

1 議題

「第4次おおむた男女共同参画プラン実施状況について（令和6年度）」

事務局 （資料1-2に沿って説明）

会長 項目No.2「女性活躍推進のための啓発」について、担当課の自己評価と変わらないが、コメントがあった。
皆さんのご意見を。

委員 大牟田市男女共同参画に関する市民意識調査と事業所調査が2021年に行われた。その中で、事業所におけるポジティブアクションの取り組み状況で、女性活躍の推進を現在取り組んでいる、今後取り組みたい、取り組む予定はないという3項目の中で、約半数の事業所が取り組む予定はないという回答。大牟田市内の800事業所のうち有効回答数が292なので36%ぐらい。
やはりまだ大牟田市内の事業所で、女性活躍がなかなか進まないという現

状を目の当たりにした。これは経営トップの意識が変わらないと難しいととても感じている。

例えば今月、人権・同和・男女共同参画課主催でファーザーリング・ジャパンの講演会があった。こういった講演会にも、できれば男性の社長やたくさん男性に来ていただきたかったという思いがあり、講演会の案内を事業所やいろんなところに配布し、啓発をしていただきたいと常々思っている。

毎月1回、商工会議所より会報が送られてくる。その中にいろんなチラシがあり、経営トップの方はそれを必ず見られていると思うので、お金はかかると思うが、事業所2,000ヶ所入れていただくと必ず届くと思うので、そういったことも考えていただきたいと思っている。

事務局 配布料がかなり高くなり、今年度の予算的には厳しい。

来年度の予算に取込めるような形で行いたいと思うが、市の予算がかなり厳しいということもあるので、配布が別の形で、どうにかできればと思っている。一応事業があるたびに、商工会議所へチラシを何部か送付している。

以前、商工会議所に伺ったとき、企業は土曜日に出席というのが、厳しいと伺ったことがあるが、事業所への配布というご意見をいただいたので、それに向けて努力はさせていただきたい。

会長 周知啓発というのが非常に重要な課題であるというご指摘。予算については今後努力したいという話はあったが、別の形で、例えば商工会議所に加盟している事業所に、メーリングリストで一斉に流せるシステムなどがあるのか。

委員 商工会議所を取りまとめる全国の組織である日本商工会議所で、デジタル化とか、会員向けの情報サービスを、メーリングリストでという話は出ているが、現時点で当所はまだそこが進んでいない。

今現在は会報誌も紙ベースで、折り込む場合には折り込み料が発生する。

ただこういった内容というのはすごく大事な部分だと思うので、会議所の議員80名の会議や、そのうちの常議員の会議を毎月行っているのので、そういった会議の中で、資料を入れ込んで紹介するということはできるかと思う。ただ全会員が2,400弱いらっしゃるのので、全会員となると、現時点では難しい。

議員の方々は、年に2、3回そういった場でお渡しするのはできるかと思う。

事務局 折り込みとか入れていただければ、また改めて商工会議所とお話をさせていただきたい。

会長 メーリングリストの検討とかはできないか。
できればPDFとか添付ファイルなどでいろいろなところに流れればうれしい。
是非ともご検討いただける部分があったらお願いしたい。
評価については、そのまま「a」ということでよろしいか。

委員 はい。

会長 続いてNo.16「女性人材リストの充実・活用」について、担当課からは50名という目標値の提示があり、登録申請書の見直し等を検討したいということだが、いかがか。

委員 登録されている28名の方の年代がわかれば教えていただきたい。
ハードルの高さの1つに、働いている方がすごく増えているので、例えば、お勤めされている方が、こういう審議会が平日に入ると、なかなか難しいということがある気がする。

事務局 30代から70代と幅広い世代で登録していただいているが、昔から登録していただいている方たちの年齢が上がってきて、多いのは60代70代。

会長 新規の方が2名で、60代70代の方もいらっしゃるということで、更新せずに、引かれるようなことも多くなっているのか。

事務局 6年度に更新されてない方が何人いらっしゃるが、年齢を理由に更新を断られる方が多い。

会長 抜けられる人以上にいかに新規の人に入っていただくかというのが課題になる。

事務局 申請書については、もう少し簡潔に申請ができるように、今年度中に見直しを行う。

12月に人材リストの募集を広報おおむたに掲載するので、それまでに新しい申請書を準備する予定。

会長 これまでの審議会で出た意見等を参考にして、より良い申請書の見直しを行っていただければと思う。

この取組評価の審議会評価は「b」ということでよろしいか。

委員 はい。

会長 項目No.42「女性の健康力推進」については、担当課の自己評価と変わらないが、コメントがあった。
何かご意見は。

委員 こういった無料クーポンなどが送ってくると、やはり女性としてはとてもうれしく、ありがたいことなのでぜひ続けていただきたい。

会長 検診受診率、クーポン引き換えハガキ送付者の検診受診率から見ても、一定の効果があっているのではないかと思われる。委員の方からぜひ効果があれば続けて欲しいという意見が出ているので、お伝えいただければと思う。
取組評価、審議会評価の方も「b」ということでよろしいか。

委員 はい。

会長 No.46「産前・産後サポート事業の推進」については、担当課の自己評価「a」に対して委員の評価は「b」ではないかというコメントをいただいている。
委員のコメントは、意識の改革が難しいという意見だと思うが、担当課としては、その場限りで終わるのではなく、状況に応じて相談対応や家庭訪問を行っているということで、それを受けていかがか。
相談対応や家庭訪問というところで対応していると思うが。

委員 産婦人科独自で、お父さんと呼んで講習や沐浴の練習、産前産後の相談受付など、結構努力されていると思う。行政と産婦人科や小児科が意見交換を行って、こんなことを行政が行うことで自分たちも助かるなど、何か欠けているところを補うようなことをされてはどうかと思う。

会長 助産師の方を講師でお招きしてあるので、そういった意味では産婦人科や小児科との連携も全くないわけではないと思う。
各病院がやられていることと、担当課がやられていることで、補うことができれば、委員がおっしゃる通りよろしいのかなと思う。

委員 たまたま息子の妻が出産したので、どういったのが来るのだろうと思っていたら、はがきや支援、プレゼントなど、私たちが全然知らないようなことがたくさん行われているということがわかった。
だから、市としては妊娠出産育児支援というのは、一生懸命やっていると

いうのはすごくわかる。

出産後も家庭に必ず訪問に来てお話を聞いてくださるし、月に一回、赤ちゃんと母親教室の案内が届くなど、市としては一生懸命やってらっしゃるので、「a」にされたと思う。

委員 このNo.46の項目が妊娠出産期における女性の健康支援の枠組みに入っているので、健康支援という観点で見たときにはこういった取り組みをいろいろ行っていますというところで考えたら「a」でもいいと思う。

ただ審議会からの意見として、その意識啓発の部分を、担当課に限らず、別の項目も関連はしてくると思うので、逆にこんなものかと思われなような内容にしてくださいという意見を伝えていただくという形でもいいと思う。

事務局 今の委員の意見を踏まえて、評価については担当課の方に伝えさせていただく。

会長 審議会評価について「a」でよろしいか。

委員 このくらい対応していただいている、47組97人の参加というのは、父親もほぼ参加されているので、「a」でいいかと思う。

会長 No.51「市職員への研修の充実」について、研修のテーマの報告があっている。アンコンシャス・バイアスについても行っているということであれば「a」でよろしいか。

委員 研修に関しては、毎年男女共同参画に関してというのは難しいと思うので、その関連のものを使っているのであれば、「a」で良いと思う。
中身がわからなかったので確認をしたかった。

会長 引き続き、このような内容の研修をぜひお願いしたいということで審議会評価としては「a」ということでよろしいか。

委員 はい。

会長 No.62「国際交流の促進」について、回答があっているがいかがか。

委員 回答を見ても、男女共同参画との関連がわからない。別の自治体でも割とそうなのだが、男女共同参画基本法の5つの柱に、国際交流、国際的協調と

いうのが入っているので、計画に国際交流等を入れたものの、あまり関連したことができていないのはよくあることではある。次のプランで取り組みの内容などを見直していく必要もあるという感じはする。

男女共同参画の視点が入っていたのか、この回答からはどうなのだろうかという感じがする。

委員 私は日中友好促進会議の会員だが、ちょうど1年前、大同市より訪問され、全員男性で通訳が女性だった。

男女共同参画というよりも文化交流、お互いの文化を共有し、発表し合おうという取り組みだった。

次の日がちょうど大蛇山まつりだったので、見学してお帰りになった。

今年は大牟田から大同市への訪問を企画されているようなので、そういう意識を持って行かれるといいと思う。

事務局 代表団の訪問によって、それぞれが他国の文化に触れる機会となって、国際社会の関心や地域における国際交流を促すことになり、ひいてはそれが多文化共生の理解にも繋がるというような考えから、担当課は「a」としている。

会長 第4次プランの施策の方向3 国際交流のところで、他国の文化に触れる機会が増えているので、まずは価値観や生活習慣、文化的背景に違いがあることを認識しましょうというところではあるけれども、それが積極的な男女共同参画という意識とか活動に繋がっているかということ、参加された委員の方からも意見があったが、少し足りない部分があるというのは感じる。

現状として、文化交流にはなっているけれども、男女共同参画の視点は明確ではないということがあるので、「b」でどうかとは思いますが、いかがか。

委員 はい。

会長 それでは、資料1-1、審議会の評価対象項目の残り37項目については、前回の審議会で提示された内容と同じなので、一括して委員の皆さんに確認を取りたい。

委員の皆さんからの特段の評価・意見がでていない項目については、この評価でいきたいと思うが、あらためて全体を通して、委員の皆さんからご質問・ご意見等はないか。

委員 特になし。

会長 なければ残り37項目については、当初の評価のとおりとする。

事務局（資料 1-3 に沿って説明）

会長　ただいまの説明について何かご意見は。
うまく進んでないところもあるので、引き続きしっかりよろしくお願いしますということでしょうか。

委員　はい。

事務局（資料 2 に沿って説明）

委員　市職員の管理職への登用率というのは少しずつ上がってきているので、とても心強く感じている。

先週、古賀市で古賀市長が講師の研修を受ける機会があり、男女共同参画についてのお話を伺った。その時に、いろいろな資料を出されて、大牟田市の数字が他市町村の中で、どの位置を占めているのかということが興味深かったのだが、自治会長、公民館長の女性の登用率が 19.5%で県内トップだった。

こういったところから大牟田市は女性が頑張っていますねという声もいただいた。

先ほど相談件数の内訳があったが、困難な問題を抱える女性の支援に関する法律が、令和 6 年に施行されて、これは次回のプランに盛り込まれるということによかったか。

事務局　市町村において、計画の策定は努力義務になっている。大牟田市では、第 5 次プランで、その法律も包含させたプランを考えないといけないと思っている。